



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	160,957	14.7	4,728	44.2	4,901	40.2	4,129	83.2
2023年3月期第2四半期	140,370	12.1	3,278	26.1	3,495	26.5	2,254	32.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,639百万円(105.3%) 2023年3月期第2四半期 2,260百万円(52.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	185	60	182	34
2023年3月期第2四半期	101	93	99	59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	112,918	48,955	43.0
2023年3月期	94,275	45,213	47.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 48,553百万円 2023年3月期 44,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2024年3月期	—	25.00			
2024年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の期末配当金の予想値につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき安定的な配当を記載しております。2024年3月期の期末配当金につきましては利益配分に関する基本方針に基づき、別途検討いたします。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	310,000	0.9	6,000	2.7	6,200	0.1	3,700	3.9	167.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規1社(社名)株式会社ブロッコリー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	24,050,000株	2023年3月期	24,050,000株
2024年3月期2Q	1,749,782株	2023年3月期	1,861,322株
2024年3月期2Q	22,251,578株	2023年3月期2Q	22,116,388株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2023年11月10日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、少子化や消費者ニーズの多様化、エンタテインメントのデジタル化が進む中で、商業施設などの人流はコロナ禍からの回復が見られるものの、原材料価格や物価の上昇が続くなど、先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業やアミューズメント事業が引き続き好調に推移したことに加え、ビデオゲーム事業でヒット商品があったことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。また、2023年8月31日をみなし取得日として当社の持分法適用関連会社であった株式会社ブロッコリーの株式を追加取得し連結子会社化したことに伴い、段階取得に係る差益10億2千5百万円を特別利益として計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,609億5千7百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益は47億2千8百万円(同44.2%増)、経常利益は49億1百万円(同40.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億2千9百万円(同83.2%増)となりました。

なお、株式会社ブロッコリーは当社の連結子会社となりましたが、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しており、四半期連結損益計算書に同社の業績は含まれておりません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」をはじめとしたくじ商品や「ポケモンカードゲーム」などのトレーディングカードが依然好調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は686億9千8百万円(前年同期比15.0%増)、セグメント利益は32億8千8百万円(同52.5%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、第2四半期においては大きなヒット作品に恵まれず、加えて当社出資映像作品の一部で投資損失が発生したものの、第1四半期において音楽パッケージの新譜の販売や当社出資映像作品の配信プラットフォームへの販売などが好調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は333億8千2百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は2億2千2百万円(同16.7%増)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、第1四半期において大きなヒット商品があったことに加え、第2四半期においても「Nintendo Switch」や「PlayStation5」のハードの売上が引き続き好調に推移したことや、「ピクミン4」などの商品が堅調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は389億8千6百万円(前年同期比20.8%増)、セグメント利益は7億1千3百万円(同21.7%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具市場がインバウンド需要の回復も取り込み伸長していることに加え、当社運営のカプセル玩具ショップ「ガシャココ」の出店を拡大したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。なお、「ガシャココ」は2023年9月末日時点で90店舗を出店しております。

この結果、売上高は198億8千9百万円(前年同期比32.4%増)、セグメント利益は11億5千5百万円(同16.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ186億4千3百万円増加し、1,129億1千8百万円となりました。これは主に、株式会社ブロッコリーを連結子会社化したことによる資産の増加109億1千8百万円、受取手形及び売掛金の増加105億2千7百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ149億1百万円増加し、639億6千3百万円となりました。これは主に、株式会社ブロッコリーを連結子会社化したことによる負債の増加11億1百万円、支払手形及び買掛金の増加109億7千5百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ37億4千2百万円増加し、489億5千5百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加41億2千9百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少9億1千万円及びその他有価証券評価差額金の増加4億9千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2024年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,874	27,808
受取手形及び売掛金	33,555	44,759
電子記録債権	4,091	4,003
棚卸資産	7,480	9,629
その他	4,874	5,585
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	77,872	91,781
固定資産		
有形固定資産	1,207	3,633
無形固定資産		
のれん	-	3,303
その他	1,796	3,304
無形固定資産合計	1,796	6,608
投資その他の資産		
投資有価証券	8,364	6,163
その他	5,054	4,753
貸倒引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	13,398	10,895
固定資産合計	16,402	21,137
資産合計	94,275	112,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,594	44,941
未払法人税等	1,042	1,466
賞与引当金	227	394
その他	9,107	11,560
流動負債合計	43,971	58,363
固定負債		
株式給付引当金	236	256
役員株式給付引当金	76	77
役員退職慰労引当金	-	26
退職給付に係る負債	3,409	3,611
その他	1,367	1,628
固定負債合計	5,090	5,599
負債合計	49,061	63,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	3,322	3,353
利益剰余金	38,087	41,307
自己株式	△1,974	△1,874
株主資本合計	42,187	45,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,511	3,007
繰延ヘッジ損益	△4	8
その他の包括利益累計額合計	2,506	3,015
新株予約権	519	402
純資産合計	45,213	48,955
負債純資産合計	94,275	112,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	140,370	160,957
売上原価	124,826	142,938
売上総利益	15,543	18,019
販売費及び一般管理費	12,265	13,291
営業利益	3,278	4,728
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	125	115
その他	111	85
営業外収益合計	238	201
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	20	26
その他	0	1
営業外費用合計	21	27
経常利益	3,495	4,901
特別利益		
段階取得に係る差益	-	1,025
投資有価証券売却益	87	-
会員権売却益	1	-
特別利益合計	89	1,025
特別損失		
固定資産除却損	7	2
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益	3,577	5,924
法人税、住民税及び事業税	720	1,524
法人税等調整額	602	270
法人税等合計	1,323	1,794
四半期純利益	2,254	4,129
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,254	4,129

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,254	4,129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	496
繰延ヘッジ損益	△8	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	5	509
四半期包括利益	2,260	4,639
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,260	4,639
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,577	5,924
減価償却費	501	483
のれん償却額	104	-
段階取得に係る差損益(△は益)	-	△1,025
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△184	28
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△207	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	65	91
受取利息及び受取配当金	△126	△116
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	7	2
投資有価証券売却損益(△は益)	△87	-
会員権売却損益(△は益)	△1	-
為替差損益(△は益)	△0	△0
持分法による投資損益(△は益)	20	26
売上債権の増減額(△は増加)	△11,975	△10,439
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,457	△1,763
仕入債務の増減額(△は減少)	11,560	10,975
その他	△793	△1,125
小計	1,005	3,061
利息及び配当金の受取額	126	116
持分法適用会社からの配当金の受取額	67	67
法人税等の支払額	△1,544	△1,167
法人税等の還付額	0	166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△345	2,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△199	△365
有形固定資産の売却による収入	15	-
無形固定資産の取得による支出	△389	△249
投資有価証券の取得による支出	△5	△37
投資有価証券の売却による収入	188	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△3,747
その他	△66	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△457	△4,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△884	△909
財務活動によるキャッシュ・フロー	△884	△909
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,687	△3,066
現金及び現金同等物の期首残高	23,330	27,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,643	24,779

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,760	33,299	32,283	15,027	140,370	—	140,370
セグメント利益	2,155	190	586	994	3,926	△648	3,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△648百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2、3
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	68,698	33,382	38,986	19,889	160,957	—	160,957
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	68,698	33,382	38,986	19,889	160,957	—	160,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	68,698	33,382	38,986	19,889	160,957	—	160,957
セグメント利益	3,288	222	713	1,155	5,379	△651	4,728

(注) 1. セグメント利益の調整額△651百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△651百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第2四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社プロッコリーの株式を追加取得し連結子会社化したため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2023年8月31日とし、当該みなし取得日と四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結会計期間において貸借対照表のみを連結しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であった株式会社ブロッコリーの株式を追加取得し連結の範囲に含めたことにより、玩具事業・映像音楽事業・ビデオゲーム事業におけるのれんが合計で3,303百万円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会において、当社の持分法適用関連会社である株式会社ブロッコリー（以下「対象者」といいます。）の普通株式（以下「対象者株式」といいます。）を金融商品取引法（1948年法律第25号。その後の改正を含みます。）による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決議し、本公開買付けを2023年4月17日から2023年6月13日の期間で実施いたしました。本公開買付けの結果、2023年6月20日（本公開買付けの決済の開始日）付で、対象者は当社の子会社となりました。

なお、本公開買付け後、対象者株式の全て（但し、当社が所有する対象者株式及び対象者が所有する自己株式を除きます。）の取得を目的とし、対象者は、2023年8月24日に開催された対象者の臨時株主総会にて、対象者を当社の完全子会社化とするためのスクイーズアウト手続きとして、2023年9月28日を効力発生日とする株式併合（以下、「本株式併合」といいます。）を実施することを決議いたしました。本株式併合により、当社以外の株主の所有する普通株式の数は、1株に満たない端数となりました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ブロッコリー

事業の内容 コンテンツ（アニメ・ゲーム・音楽・映像・カードゲーム）の企画、制作、およびキャラクター商品の企画、製作、販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループが属するエンタテインメント業界においては、少子化、消費者ニーズの多様化、スマートフォン・タブレット端末の普及や配信への移行等によるエンタテインメントのデジタル化が進み、経営環境が大きく変化しております。このような状況の中、当社は、中間流通としての強みを活かしながら、新たなエンタテインメントビジネスに積極的に挑戦し、成長・発展を目指すために、クリエイティブ機能の更なる強化を中期的な課題として掲げ、取り組んでおります。

対象者は「うたの☆プリンスさまっ♪」や、トレーディングカードゲーム「Z/X -Zillions of enemy X-（ゼクスジリオズオブエネミーエックス）」をはじめとしたコンテンツの企画・制作に実績があり、当社グループの中間流通としての強みや経営資源と対象者のコンテンツ開発力を活かすことで、新コンテンツ開発の推進、対象者が所有する自社コンテンツの展開拡大、対象者の事業規模の拡大・経営支援体制の強化といったシナジーを発揮することを目的として本公開買付けを実施いたしました。

(3) 企業結合日

2023年6月20日（みなし取得日 2023年8月31日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前の議決権比率	29.72%
本公開買付け後の議決権比率	77.92%
本株式併合後の議決権比率	100.00%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

みなし取得日を2023年8月31日とし、当該みなし取得日と四半期連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、当第2四半期連結会計期間において貸借対照表のみを連結しているため、四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

なお、被取得企業は持分法適用関連会社であったため、2023年3月1日から2023年8月31日までの業績は持分法による投資損失として計上しております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合直前に保有していた被取得企業の株式の企業結合日における時価	3,900百万円
	企業結合日に追加取得した被取得企業の株式の対価 (現金)	6,324百万円
取得原価		10,224百万円

4. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益 1,025百万円

5. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等 261百万円

6. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

3,303百万円

なお、のれんは、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

(2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

(当社と当社連結子会社との合併)

当社は、2023年10月10日開催の取締役会において、2024年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社である株式会社ハピネット・マーケティング（以下、「ハピネット・マーケティング」といいます。）を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といいます。）を行うことを決議し、同日付で合併契約を締結しております。

1. 本合併の目的

当社と当社の完全子会社であるハピネット・マーケティングは、顧客基盤の確立を目的とし、分社体制にて事業運営を行ってまいりました。この度、販売チャネルや消費者ニーズなどの経営環境が変化している状況を踏まえ、当社グループとして経営資源の最適配分や、意思決定の迅速化による機動的な事業運営を行うため、本合併を実施することといたしました。

2. 本合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会	2023年10月10日
合併契約締結日	2023年10月10日
合併予定日（効力発生日）	2024年4月1日（予定）

（注）本合併は、当社においては会社法第 796 条第 2 項に基づく簡易合併であり、ハピネット・マーケティングにおいては会社法第 784 条第 1 項に基づく略式合併であるため、それぞれ合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併（簡易合併）方式とし、ハピネット・マーケティングは効力発生日をもって解散いたします。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は、ハピネット・マーケティングの全株式を所有しているため、本合併による株式その他の金銭等の割当てはありません。また、新株式の発行及び資本金の増加はありません。

(4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 被合併会社の概要（2023年9月30日現在）

①名称	株式会社ハピネット・マーケティング
②本店所在地	東京都台東区駒形二丁目4番5号
③代表者の役職・氏名	代表取締役社長 櫻井 保幸
④事業内容	玩具・遊戯用具の販売
⑤資本金	100百万円
⑥直前事業年度の財政状態及び経営成績（2023年3月期）	
純資産	1,176百万円
総資産	4,418百万円
売上高	28,007百万円
当期純利益	564百万円

4. 本合併後の状況

本合併による当社の名称、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

5. 会計処理の概要

本合併は、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。